

令和7年第11回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和7年11月20日（木）

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午前9時30分

4. 閉 会 午前10時07分

5. 出席者 文谷元信 高戸崇 藤澤弘幸 河野由美子 坂本正恵

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	教育総務課長	大島永太郎
学校教育課長補佐	若山貴信	保育未来課長	平田貴俊
ひとづくり推進課長	園部 智	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子（事務局）		

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会会議規則第29条により藤澤委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日11月20日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第33号 浅口市保育士等就職支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について
(保育未来課長)
資料により説明。
浅口市保育士等就職支援補助金は、市内の私立こども園、保

育所、小規模保育所における保育士等の確保を図ることを目的とし、対象の園に新たに就職した保育士等に対して就職支援補助金を交付するものである。補助金の額は、常勤が20万円、非常勤が10万円で、1年以上の勤務が見込まれることが要件となる。この補助事業は、令和5年10月から開始したもので、現行の補助金交付要綱の有効期限が令和8年5月31日までとなっている。これはサンセット方式といい、事業の終期をあらかじめ設定し評価を経て、必要性が低ければ自動的に事業を廃止するという財政運営手法で、効率的な行政運営を推進するために用いられており、本補助事業は、市役所組織で行っているオータムレビューという評価システムに則り、事業の効果等を検証した。事業の実績について、令和5年度は2人、令和6年度は15人、令和7年度は現時点で10人が利用している。保育士等の確保が継続的な課題であることから、補助事業を3年間延長する方針となったため、要綱の期限を令和8年5月31日から令和11年5月31日に延長するものである。改正の施行日は、公布の日からとなる。

(承認)

日程4 議案第34号 浅口市認可外保育施設等利用料補助金交付要綱の一部を改正する告示について

(保育未来課長)

資料により説明。

この補助事業は、市内の認可保育所等の申込みを行うも入所保留となり、やむを得ず認可外保育施設を利用する世帯に対し、認可保育施設と認可外保育施設の保育料の差額を、月4万2千円を上限に補助するものである。令和5年10月から開始したもので、現行の補助金交付要綱の有効期限が令和8年5月31日までとなっている。この補助事業についても、先ほど説明したサンセット方式となっており、オータムレビューという評価システムに則り、事業の効果等を検証した。事業の実績について、令和5年度は4人、令和6年度は2人、令和7年度は現時点で2人が利用している。入所保留の児童数は減少しているものの課題が解消されていないことなどを考慮し、補助事業を1年間延長する方針となった。この度の改正は、要綱の期限を、令和8年5月31日から令和9年5

月31日に延長するものである。改正の施行日は、公布の日からとなる。

(教育委員)

実績が4人、2人、2人ということだが、この事業は何人を目標とし、何人になれば成功したとなるか。

(保育未来課長)

申請が0人になるのが理想である。認可外保育施設を利用している人が0人になるというのは、市内の認可保育施設に希望通り入ることができ、認可外保育施設を利用しなくてよい状態になるということである。

(教育委員)

一つ前の議案の場合は、申請が増える方がいいのか。

(保育未来課長)

増えているということは、全員とは言わないが、支援交付金の一つのアドバンテージになり採用できたということである。一定数いる方が成果が上がっているとなる。

(教育委員)

では、人が増えれば増えるほど効果があるということは止められないということになるか。そうなると、増えれば増えるほど止められないので、今回は令和11年5月31日だが、また延長となるのか。

(保育未来課長)

終期を3年ないし1年で設定する案になっているが、その終期で改めて、今回のような形で実績や効果を検証する。

(教育委員)

サンセット方式とは時期が来たとき見直しをするやり方か。

(保育未来課長)

そうである。全てではないが、一部の補助金については、終期を設定して実施しているものがある。

(教育次長)

補足として、新規の事業については基本的には終期を設けて成果や課題等を検証することとしており、この事業も令和5年に始まった時点でサンセット方式が決まっている。

(教育委員)

話は変わるかもしれないが、英検の準2級以上の取得に対して、現金を支給する事業があるが、その事業の最初の時に現

金を出すのはどうなのかと私が提案したことがあった。その
ときに見直すことはできるのかと聞いたら、できないと言わ
れたと思うが、今の話で言うところのサンセット方式は過去の
その施策に使えるのであれば、本当にそれがいいのかどうな
のかを、都度都度協議ができということか。

(教育次長)

協議はできる。

(教育委員)

例えば、今の準2級の取得率を見ながら、補助の方法等を変
更することはできるか。

(教育次長)

市の施策として考えていく中では変更等あり得ることだが、
市長は4年に1回選挙がある。トップの考え方が変わるこ
とはあるかもしれない。

(教育委員)

色々なことに関しての見直しはできるということか。

(教育次長)

検討は可能である。

最初の要綱の改正の部分について、例えば、配偶者の転勤や
子育て等の諸事情で辞めていく部分の補充を確保する意味で
も、近隣市町でも一部似たような制度を実施している。そち
らに流れることを防ぐ意味もある。将来的には子どもの数が
減ってくることは全国的な流れなので、状況を見ながらやっ
ていく。

(承認)

日程5 議案第35号 浅口市全国大会等出場激励金交付要綱の一部
を改正する告示について

(ひとづくり推進課長)

資料により説明。

令和5年1月1日施行のスポーツ基本法の一部を改正する法
律に則って令和6年開催の第78回大会から国民スポーツ大
会に名称が変更しており、要綱中の国民体育大会を国民ス
ポーツ大会に改正するものである。また、押印が不要となっ
ているので様式中の印を削るものである。

(承認)

日程 6 諸般の報告について

(学校教育課長補佐)

部活動の地域展開について現状報告をする。部活動地域移行検討委員会を開いており、浅口市の目指す部活動の地域移行を目標に現在も検討を進めている。令和7年度の部員の人数の状況は、人数がたくさんいる部活もあれば、非常に少なく、単独ではチームを組めない部活も出てきている。国の動向としては、5月に地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議という有識者会議の中でいろいろな方針が出ている。改革の方向性だが、以前は令和5年度から7年度を改革推進期間としていたが、令和8年度から13年度までを改革実行期間として6年間示されている。その中で、次期改革期間内に原則全ての部活動において地域展開を実現するとしている。地域の実情を踏まえてできる限り前倒して実施することとなっている。

地域展開への名称変更について、部活動を地域クラブに移すというより、地域に広げるという趣旨で、地域移行から地域展開と呼び名を変えて進めていく。

費用負担のあり方は、安定的継続的に取組を進められるように受益者負担と公的負担とのバランス等を検討する。また、公的負担については、国、県、市町村で支え合うことが重要で、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置をすることが示されている。

推進体制は専門部署の設置、コーディネーターの配置、また幅広い連携、また複数の市町村の連携が必要と示されている。その中で浅口市も実証事業を受けて取組を進めており、ロードマップを示している。現在、11月から協力いただいている活動や、できるところからプレ実施を行っている。2月までをプレ実施とし、準備期間を経て令和8年度8月から10月、中体連の秋季大会があるので、終了する頃を目処に本格実施、休日の地域展開について進めていきたい。お手元の子どもたちの未来は地域でつなぐというチラシはホームページに掲載している。表はロードマップ、裏は、プレ実施の活動について載っている。それ以外の活動も指導者のことや受け皿作りを現在も進めている。部活動地域展開における国の流

れについて、国は令和5年度から7年度を改革推進期間として休日の部活動から段階的に地域移行していくと示していた。令和6年度にそれに向けて実証事業を国は実施し、市は5月に検討委員会を開いて休日の地域移行に向けて進めていく方向を示した。ただ今年度になり、令和8年度から13年度までを改革実行期間として6年間延びたと示された。浅口市としては最初令和6年度の段階で、令和8年度から休日は進めてくると示しており、それに向けて取組を進めている。国は今年の夏ごろに新たなガイドライン、受益者負担の額の目安など、具体的なものを示すと言っていたが、現在冬に出すと延期になっている。我々としては具体的な費用負担の額等具体的な部分が出た段階で様々なものを検討していくと思っていたが、冬に延期となり非常に困っている。令和8年度から改革実行期間がスタートするので、11月から2月でやっているプレ実施で検証をしっかりとしながら、地域展開に向けていい形を目指して進めていきたい。現在も議論を進めており、12月にも検討委員会を開き、休日の地域展開について検討していきたい。

AIドリルについて、令和8年度から使用するドリル学習アプリ事業の進捗状況を報告する。予算は令和8年度当初から使用できるよう準備を進めている。アプリはAI機能が強化されているドリル学習アプリの候補を3つ想定していたが、AI機能の評価が高いアプリケーションが価格を下げてきたので、こちらを加えて4つで検討している。12月中に情報教育担当者会を開いて教員から意見を伺い、その後12月議会で予算の債務負担の議決後アプリケーションの選定を行い、整備を進めていく予定である。

(教育委員)

部活動地域展開について、現在プレ実施しているが、何人ぐらい参加があるのか。

(学校教育課長補佐)

現在登録者は125人、部活に入っているのは約350人程度なので、3分の1程度が登録して参加している。

(教育委員)

現在はいい状況でスタートはできていると考えたらいいか。

(学校教育課長補佐)

そうである。それぞれの活動は、まだ1回程度しかできてないが非常に良いスタートが切れている。

(教育委員)

対外試合は土曜日曜だが、そうなったらクラブチームとは関係なく学校の部活動で出場するのか。

(学校教育課長補佐)

中体連の大会に関しては、現在整備を進めているが、指導者資格の問題があり、学校の先生であれば資格は問われないが、クラブとなると資格が要る競技がある。その辺りは検討していき良い形を目指していく。練習試合等は地域クラブでも参加することは可能になってくる。

(教育委員)

中体連は、学校として参加もいいし、地域クラブとして参加してもいいというのは種目によって違うのか。

(学校教育課長補佐)

競技によっては部活動のチームも出ているし、地域クラブチームも出ている競技もある。

(ひとづくり推進課長)

アッケシソウ自生地で、新地区のF地区が発見された。こちらは岡山理科大学の教授とアッケシソウを守る会の会長が、現地確認をしている中で見つけた。B地区とC地区の間、一般の観客の方が見えるところではないが、茂みの中で発見された。続いて概要報告、10月18、19日で行われた文化祭で、文化祭の実行委員会から2町を合わせて2,200人の参加があったと参加人数の報告があった。

11月15日土曜日に行われた浅口市長杯ドローンレース大会について、今年初めて行ったが、レース結果は、浅口市のドローンレースクラブが、AクラスBからCクラスそれぞれに入賞した。クラブ創立2年目になるが初めて入賞の実績となった。

(金光分室長)

12月21日日曜日に金光公民館にて金光キッズフェスティバルを開催する。12月の広報誌に折り込む予定である。例年通り舞台、展示を盛りだくさんの参加で予定している。

(寄島分室長)

12月14日日曜日第19回浅口市マラソン大会の開催する。

(学校給食センター所長)

給食費の見直しを現在検討していることについて報告する。現在1食あたりの給食費は小学校が300円、中学校が340円、幼稚園・こども園が280円である。令和5年4月に改定したもので、そのときに値上げした20円については、物価高騰対応の交付金を活用して公費負担をしているところである。令和7年度については、給食費を改定していないが、1食20円を上限に予算措置をしており、食材費が不足した場合に備えている。今後、米や牛乳を始めとする食材費の値上がりが見込まれることから、現在給食費の改定を視野に入れ、実績と今後の見込みをもとに、給食費の単価の算定作業を行っている。12月中には決定したいと考えている。

日程7 その他について

(教育委員)

マラソン大会について、昨年と変わったことはあるか。

(寄島分室長)

昨年コースを見直したが、基本的には大きく変わっていないが、走りやすくするというので若干のコースの見直しをしている。それと中学生5キロ走るのはいかがでしょうかという意見もあり、中学生が5キロと3キロを選べるように変更した。

(教育委員)

マラソン大会の10キロに出た方が走り終わって、この大会の今まで良かったところは非常に風光明媚なところを走れたことで、前回からはそれがなく残念だったということ saying していた。コースの交通の関係とかいろいろあると思うが、参加者の方からそういう声が上がるといことは参加人数も増えてきているということで非常に注目を浴びていいことだと思うが、もう少しそういったところも踏まえてコースを考えて欲しい。

(寄島分室長)

ご意見を検討する際の参考にさせていただく。

次回教育委員会議

定例会 令和7年12月10日（水）15時00分から

令和 7 年 12 月 10 日

浅口市教育委員会

教 育 長 文谷元信

委 員 藤澤弘幸

作成職員 平井 恵美子